

株主メモ

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)	定時株主総会	毎年6月開催
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告(当社のホームページ https://www.tdk.com/ja/index.html に掲載いたします)
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日	単元株式数	100株
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)	株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口
配当金の受取方法の指定・変更、 単元未満株式の買取・買増請求、 住所変更、名義変更等	証券会社等にて当社株式をお持ちの株主様 ▶お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
	特別口座にて当社株式をお持ちの株主様 ▶三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
未払配当金の照会、支払い	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

お知らせコーナー

<p>● 配当金の受取方法について:</p> <p>配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします。</p>
<p>● 単元未満株式の買取・買増請求について:</p> <p>単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください。 (但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)</p>
<p>● 今回お送りした「配当金計算書」について:</p> <p>確定申告の際にご参照いただけますので、大切に保管してください。</p>

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間:9:00 ~ 17:00 ※土日休日を除く)



この冊子は植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

TDK株式会社

〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
<https://www.tdk.com/ja/index.html>



証券コード:6762
125期 株主通信

TDK Today

2020年4月1日▶2021年3月31日

Vol.67

特集

医療とヘルスケアの
未来に貢献する
TDKのソリューション

株主の皆様へ

売上、営業利益ともに過去最高を更新*。
ますます加速するDX、EXの潮流を捉えて
積極投資を進めてまいります。



2021年3月期の業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の業績についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や米中対立などの影響を大きく受けたものの、第2四半期以降、社会経済活動や生産活動の再開により、エレクトロニクス需要の回復基調が継続しました。自動車市場では、受動部品を中心に販売が拡大しました。ICT市場では、PC、タブレット、5Gスマートフォン関連需要が好調に推移。産業機器市場では再生可能エネルギー向けの需要が増加し、EX(エネルギー変換)関連需要の回復も鮮明となりました。

このような経営環境の中、2021年3月期の連結業績は、売上高が前期比8.5%増の1兆4,790億円、営業利益が前期比13.9%増の1,115億円、当期純利益が前期比37.2%増の793億円となりました。

2021年3月期 連結業績概要

売上高	1兆4,790億円(前期比 8.5%増)
営業利益	1,115億円(同 13.9%増)
当期純利益	793億円(同 37.2%増)

当期は、DX(デジタルトランスフォーメーション)、EX関連の需要が期初想定以上に拡大、売上高、営業利益ともに過去最高を更新*しました。今後もDX、EXの潮流が加速することを想定し、成長の機会を確実に捉えるため、より効率的で競争力のある事業運営を行ってまいります。

* 営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2022年3月期の見通しについて

2022年3月期の市場動向につきましては、自動車及びスマートフォンは当期比でプラス成長。PC、タブレットも当期と同水準の生産を予測しております。また、モビリティの電動化や再生可能エネルギーへの転換など、EXがさらに進展し、関連する受動部品や二次電池の需要を押し上げると考えております。

■主要事業である二次電池は、パワーセル領域に本格的に取り組むとともに、中国以外の市場に対する重要拠点として、インドにおける生産体制の整備を着実に推進してまいります。

■センサ事業では、これまで継続してきた顧客基盤の拡大と製品ラインアップの拡充をもとに、収益の大幅な改善を目指してまいります。

■組織・体制の改革・整備においては、コーポレートマーケティング機能の新設による市場動向等に対するアンテナ機能の強化、デジタル技術を活用したモノづくり力の向上などに取り組んでまいります。

業績と配当の見通しについて

2022年3月期の連結業績と1株当たり配当金の見通しは、以下の通りです。

売上高	1兆6,000億円(2021年3月期比 8.2%増)
営業利益	1,500億円(同 34.5%増)
当期純利益	1,000億円(同 26.1%増)

※ 通期の平均為替レートは対米ドル105円、対ユーロ124円を想定(2021年4月28日時点)

中間配当	95円(2021年3月期実績 90円)
期末配当	95円(同 90円)
年間配当	190円(同 180円)

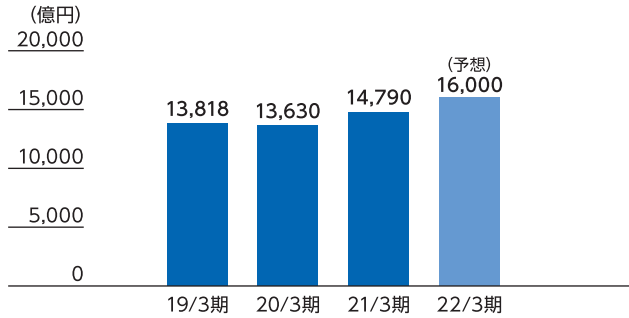
2021年3月期は新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界経済はマイナス成長を余儀なくされました。2022年3月期も引き続きコロナ禍による影響や地政学的なリスクは残るものの、世界経済はプラス成長となることを見込んでおります。本年度は、ますます加速するDXやEXの流れをしっかりと捉えて、大きく社会に貢献するためにアクセルを踏む年であると認識しております。中核事業のさらなる成長に向けた積極投資と組織・体制の整備を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

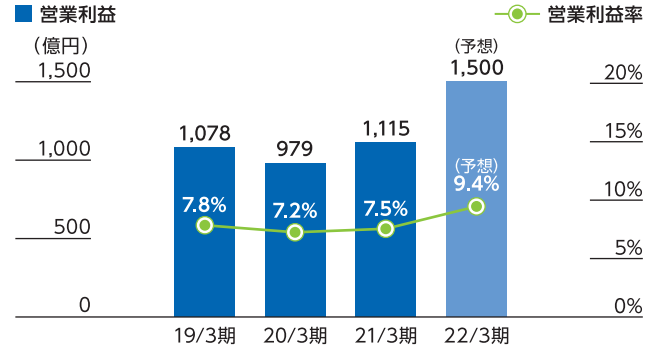
代表取締役社長 石黒成直

主要財務指標等の推移 (予想: 2021年4月28日発表)

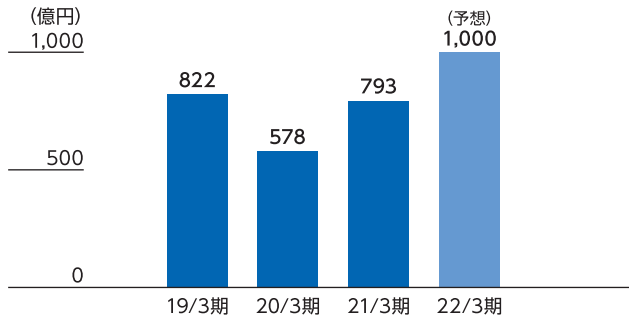
売上高



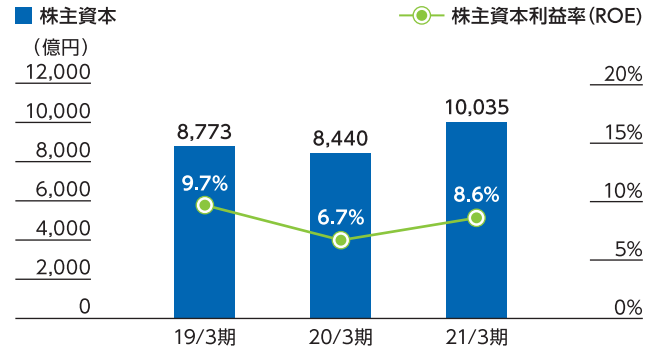
営業利益及び営業利益率



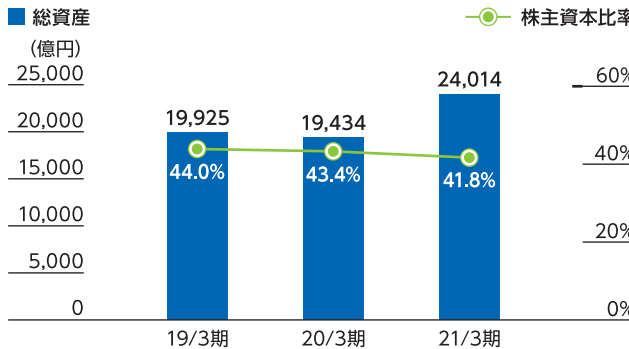
当期純利益



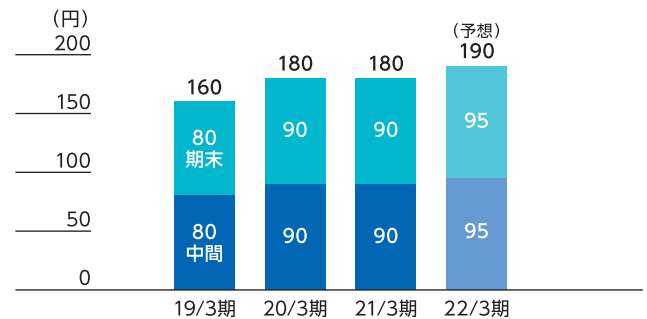
株主資本及び株主資本利益率(ROE)



総資産及び株主資本比率

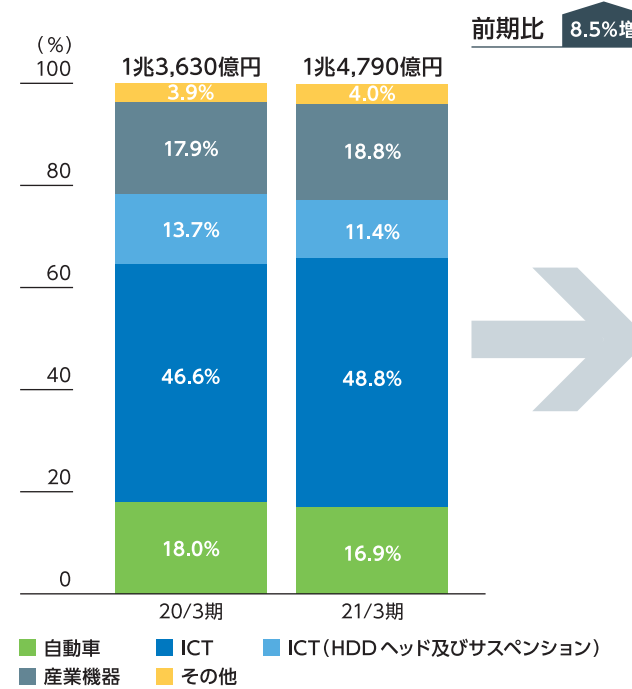


1株当たり配当金

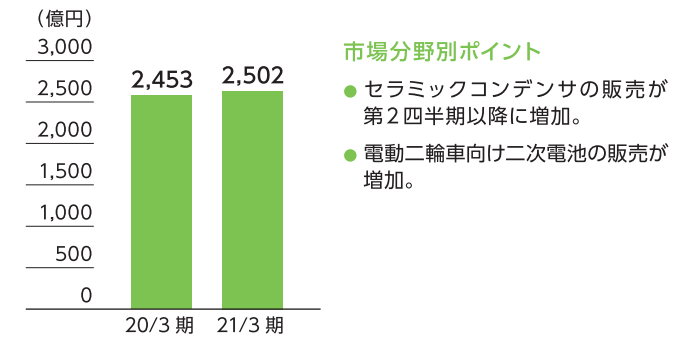


重点分野別売上の状況 (2021年3月期)

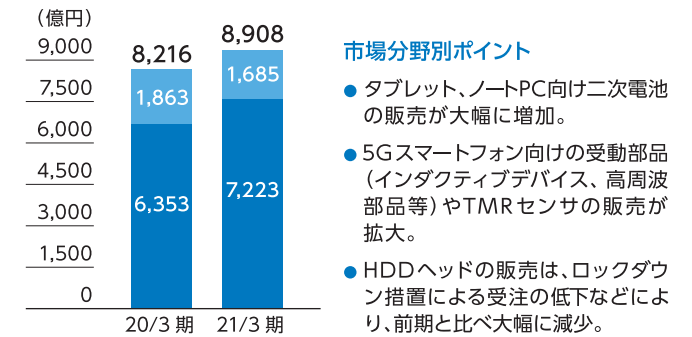
●全体



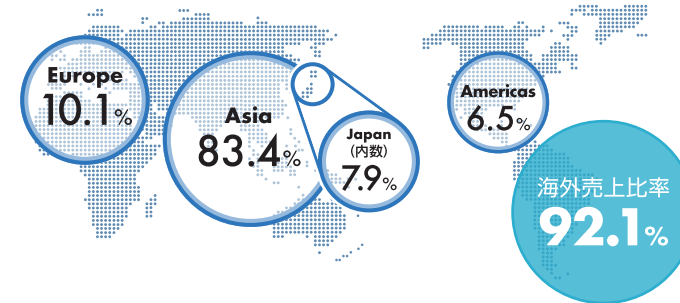
■自動車



■ICT及びICT (HDDヘッド及びサスペンション)

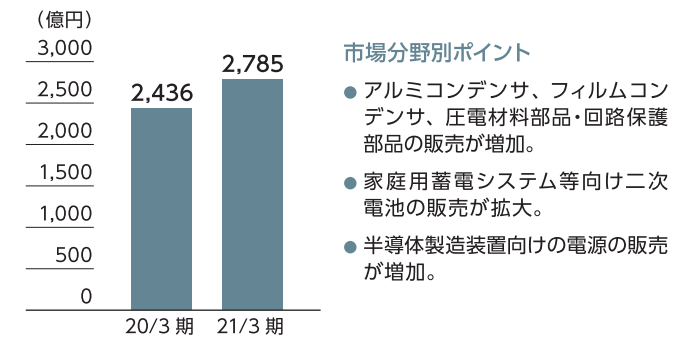


地域別売上構成 (2021年3月期)



TDKグループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。また、地域別では、日本を含めたアジア地域が83.4%と、最も大きな割合を占めています。

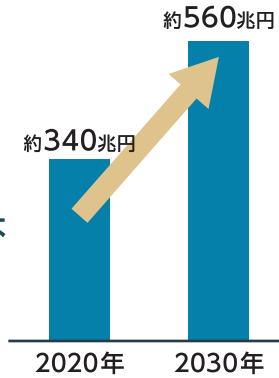
■産業機器



医療とヘルスケアの未来に貢献する TDKのソリューション

AI(人工知能)やIoT、ロボティクスなどの活用により、医療やヘルスケアの分野でも、DX(デジタルトランスフォーメーション)が急速に広がっています。TDKは、高い信頼性と安全性が求められる医療/ヘルスケア機器に向けて、さまざまな電子部品や電源製品を提供しています。

医療分野は、2030年には
世界で約560兆円の
巨大市場に!



(出所)「日本再興戦略 -JAPAN is BACK- (2013年)」を参考にTDK作成

Health Care ヘルスケアが進化する

世界的な高齢化社会の到来とともに「健康寿命」の延伸が重要な課題になっています。ヘルスケア分野では、生体センサを用いた健康管理や健康増進に役立つ機器をはじめ、在宅用の透析装置、介護や福祉分野におけるロボットの活用など、デジタル技術の活用がますます盛んになると考えられています。



毎日の健康を見守るTDKの電子機器 / 部品

リストバンド型
活動量計
Silmee™

健康管理のために
毎日の生体情報を計測

脈拍や運動量など多様な生体情報を計測。ヘルスケアのさまざまなサービスに利用できるウェアラブル端末です。



CO₂
ガスセンサ

室内の空気環境を
正確にモニタリング

MEMS技術により小型化と超低消費電力を実現したCO₂検出用センサ。室内の空気環境の正確な測定に寄与します。



Medical 医療の未来が見えてきた

いつでも、どこでも、誰でも、適切な診断と治療が受けられる未来のために。ますます高度化する医療への対応や、限られた医療資源の活用を目指して、医療システムや医療機器のイノベーションが進んでいます。



医療機器の安全・安心・信頼を高める TDK の製品

医療機器
向け電源

新型コロナウイルス感染症治療の最前線で活躍する医療機器向け電源

人工呼吸器、ECMO(体外式膜型人工肺)、CTスキャナ、保冷庫、人工透析器、医療用ベッド、遺伝子検査装置などの電源として数多く使われています。

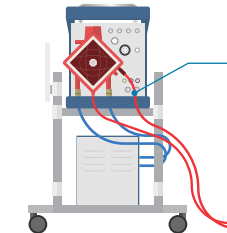


遺伝子検査装置
(リアルタイムPCR)



AC-DC
スイッチング電源

小型・軽量・高効率・高信頼性の製品を豊富にラインアップ。



ECMO
(体外式膜型人工肺)



パワーモジュール
(DC-DCコンバータ)

機器の小型化に貢献するコンパクトな一体型電源。

生体磁気
センサ

検査・診断機器でも活躍する
TDKの技術

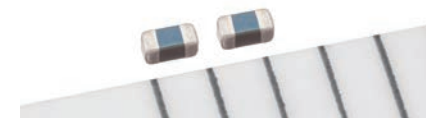
HDDヘッドで培った磁性薄膜技術を応用することで、冷却装置が必要だった従来の測定方法に替わり、微弱な心臓活動が常温でも検出可能に。



回路保護
素子

静電気などから
医療機器の回路を保護

静電気対策用のチップバリスタなど、異常な電圧・電流などから医療機器を守るための保護素子も重要です。



CDP「水セキュリティ対策」にて 最高評価「Aリスト企業」に選定される

TDKでは、持続可能な社会の発展に貢献することを目指し、さまざまな環境活動に取り組んでいます。また、世界的にESG投資への注目が高まるなか、企業の環境活動への取り組みと情報開示がますます重要となっています。TDKは、生産活動における水資源の重要性を認識し、取水量の削減目標を設定するとともに、水リスクの把握・管理に努めています。

こうした活動が評価され、TDKはこの度、環境問題に取り組む国際的な非政府組織CDPから、持続可能な水資源管理に特に優れた企業として、2020年度の「水セキュリティ」対策において最高評価の「Aリスト企業」に選定されました。



TDKは、今後とも地球環境の再生・保護に努め、独自かつ革新的なコアテクノロジーとソリューションの提供により、未来の世代の全ての人々が安心して衛生的な水を使えるような持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

CDPについて

CDPは、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家からの要請を踏まえ、企業に対して、気候変動、水資源保護、森林保全などの環境問題への取り組みの促進と情報開示を求める活動を行う非政府組織です。



本年度のAリストおよび他の公開スコアは左記QRコードからご覧いただけます。

電動バイクの普及を支える TDKの高性能リチウムイオン電池

環境負荷が低く、世界中で普及が進む電動バイク。2025年には全世界で約170万台の市場規模となることが予測されています*。航続距離の向上や急速充電など、電動バイクの課題を解決するカギとなるのがバッテリーです。TDKのグループ会社であるATL社（Amperex Technology Limited）は、1999年の創立以来リチウムイオン電池の高性能化に取り組み、現在スマートフォン用電池市場で世界No.1のシェアを誇ります。ATLグループのPoweramp Technology Limitedでは、スマートフォン用電池で培った製造技術を活かし、高い安全性をもった電動バイク用リチウムイオン電池の開発を行い、電動バイクの普及と地球環境への負担軽減に貢献しています。

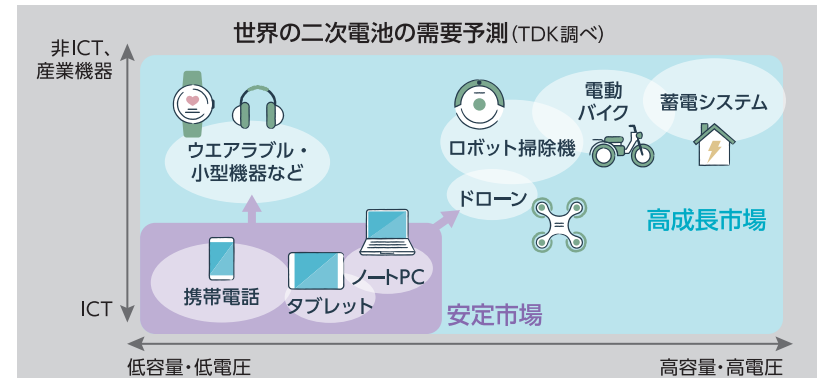
*矢野経済研究所「世界の二輪車市場に関する調査（2018年）」2019年2月8日発表より



安全性、出力、長寿命、急速充電、使用温度範囲において優れるパウチ型のリチウムイオン電池をモジュール化しています。

パワーセル領域へ取り組みを拡大

TDKでは、ウェアラブル・小型機器向けのミニセル二次電池に加え、今後の需要拡大が予測される、ドローンや電動バイク、蓄電システム（ESS）など、より高容量・高電圧が要求されるパワーセルの領域にも照準を当てていきます。



調理用温度計に
TDKの全固体電池



ワイヤレスの調理用温度計を実現した
「全固体電池」の実力とは？

かたまり肉を理想の焼き加減で調理する。プロ顔負けの技を家庭のオーブンでも簡単に実現できるようになりました。

CookPerfect社(本社:デンマーク)が開発した調理用温度計は、スティック状の本体に5つの温度センサ、通信モジュールとバッテリーを内蔵。食材に刺したままオーブン内で使用でき、手元のスマートフォンで食材の内部温度をモニタリングできる優れたものです。

こうした製品を実現可能にしたのが、TDKが世界に先駆けて開発した表面実装部品タイプの全固体電池「CeraCharge®」です。不燃性の電解質を使用しているため液漏れや発火の心配がなく、電池の動作温度範囲も-20~80℃と広いので、調理用温度計に最適です。5mm角の小さなサイズで、IoT時代に求められるさまざまな用途での使用が期待されています。

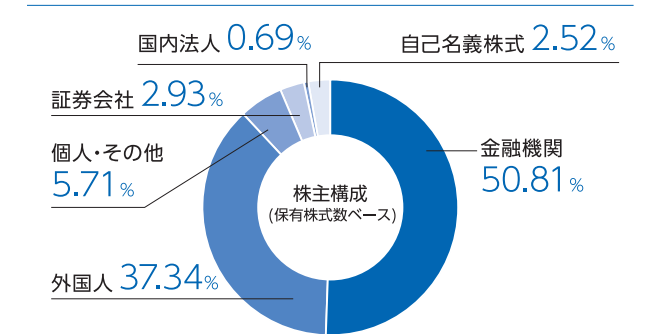


会社概要・株主の状況

会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	TDK株式会社 (TDK Corporation)
本社所在地	東京都中央区日本橋二丁目5番1号 日本橋高島屋三井ビルディング
設立年月日	1935年12月7日
資本金	32,641,976,312円
従業員数	129,284名
HPアドレス	https://www.tdk.com/ja/index.html

株主の状況 (2021年3月31日現在) 株主数 21,782名



役員状況 (2021年6月23日現在)

取締役 (*印は社外取締役)	監査役 (**印は社外監査役)	執行役員	
代表取締役 石黒 成直	常勤監査役 桃塚 高和	社長 石黒 成直	執行役員 Joachim Thiele (ヨアヒム・ティール)
代表取締役 山西 哲司	常勤監査役 末木 悟	専務執行役員 逢坂 清治	執行役員 Hong Tian (ホン・ティエン)
取締役 澄田 誠	監査役 石井 純**	専務執行役員 Joachim Zichlarz (ヨアヒム・ツイヒラルツ)	執行役員 Albert Ong (アルバート・オン)
取締役 逢坂 清治	監査役 Douglas K. Freeman** (ダグラス・K・フリーマン)	専務執行役員 山西 哲司	執行役員 松岡 大
取締役 佐藤 茂樹(新任)	監査役 千葉 通子**	常務執行役員 齋藤 昇	執行役員 指田 史雄
取締役 石村 和彦*		常務執行役員 永田 充	執行役員 Ji Bin Geng (ジービン・ガン)
取締役 中山 こずゑ*		常務執行役員 Michael Pocsatko (マイケル・ポチャッコ)	執行役員 Werner Lohwasser (ワーナー・ローワッサー)
取締役 岩井 睦雄*(新任)		常務執行役員 Andreas Keller (アンドレアス・ケラー)	執行役員 生嶋 太郎
		常務執行役員 佐藤 茂樹	執行役員 橋山 秀一

IR年間スケジュール

